

# 可能補語の注意すべき用法

## Use of Possibility Complements Worthy of Attention

俞 稔 生  
Rensheng Yu

### 目 次

はじめに

#### I. 可能補語の分類

#### II. A類可能補語

1. A類可能補語が使える場合
2. A類可能補語が使えない場合
3. A類可能補語と助動詞“能”／“不能”形式とが共に使える場合
4. 目的語の位置

#### III. B類可能補語

1. B類可能補語とA類可能補語との相違点
2. B類可能補語の特徴
3. B類可能補語の使用制限

#### IV. C類可能補語

参考文献

はじめに

可能補語とは動詞と結果補語または方向補語の間に“得”または“不”を挿入して「～できる／できない」という意味を表すものであるが、助動詞“能”／“不能”にも同様の意味を表す場合があり、中国語学習者にとって両者の用法にしばしば混乱をきたすことがある。

本論文では、可能補語と助動詞“能”／“不能”の意味の違いを分析し、両者の特徴・用法を明確にしていきたい。

1998.01.20

## I. 可能補語の分類

- |        |     |                    |
|--------|-----|--------------------|
| A類可能補語 | ……… | 動詞＋“得”／“不”＋結果・方向補語 |
| B類可能補語 | ……… | 動詞（形容詞）＋“得了”／“不了”  |
| C類可能補語 | ……… | 動詞（形容詞）＋“得”／“不得”   |

## II. A類可能補語

動詞（及び一部の形容詞）と結果補語または方向補語の間に“得”や“不”を挿入すると、「動作をする能力があるかどうか、周囲の状況や時間的制約のもとで動作の結果や方向の実現を可能にするかどうか」を表すA類可能補語を作ることができる。

A類可能補語はその補語によって、「できる／できない」（ありうる／ありえない）の理由が具体的でハッキリしていて、助動詞“能”／“不能”形式よりも豊かな表現力を持っている。

在日本，吃不到这么好吃的菜。

「日本では、こんなにおいしい料理は（物がなくて）食べられない」

我已经吃饱了，再也吃不下了。

「私は（おなかいっぱい）もうこれ以上食べられない」

法国菜，我们吃不起。

「フランス料理は（値段が高くて、お金がなくて）食べられない」

生鱼片，她吃不来。

「さしみを（いままで食べたことがなく、習慣上）彼女は食べられない」

1. A類可能補語が使える場合

- (1) 「できない」(ありえない)という否定的意味を表現する場合、A類可能補語の否定形を用いる。

※この場合、助動詞“不能”を用いると文が成立しないか、別の意味(禁止)になってしまう。

○中文太难，我学不好。

×中文太难，我“不能”学好。

「中国語は難しすぎて、私にはマスターできない」

○这么多生词，我背不下来。

×这么多生词，我“不能”背下来。

「こんなにたくさんの単語を私は覚えきれない」

○真想不到在这儿遇见你。

×真“不能”想到在这儿遇见你。

「ここであなたに出会うとは思ってもよらなかった」

○他想不出好办法来。

×他“不能”想出好办法来。

「彼はよい方法を思いつかなかった」

※比較

小孩儿离不开母亲。

「子供は母親から離れられない」(～できない[不可能])

孩子还太小，母亲“不能”离开她。

「子供はまだ小さいので、母親は子供から離れるわけにはいかない」

(～してはいけない[禁止])

这块标语牌，怎么摘也摘不下来。

「このスローガンのパネルはどうやっても取り下ろせない」

(～できない[不可能])

这块标语牌，还“不能”摘下来。

「このスローガンのパネルはまだ取りはずしてはいけない」

(～許可しない[禁止])

(2) 「できる」という肯定的意味を表現する場合、ふつう「“能” + 動詞 + 結果／方向補語」の形式を用いるが〔後述Ⅱ－2参照〕、下記条件のもとでは、A類可能補語の肯定形を用いることができる。

①疑問文にA類可能補語の肯定形があり、それに答える場合。

A：我手里有什么，你猜得着 猜不着？

B：我猜得着。

A：「私の手の中に何かがあるか、当てることができますか」

B：「当てることができます」

A：这个问题，你答得上来吗？

B：我答得上来。

A：「この問題にあなたは答えることができますか」

B：「答えられます」

②文中に推量を表す“大概”“也许”“说不定”などの副詞がある場合。

用这种洗衣粉洗，“说不定”洗得干净。

「この洗剤で洗ったら、ひよっとしたらきれいに洗い落とせるかもしれない」

我去外文书店看看，你要的那本词典“也许”买得到。

「僕が外文書店に行ってみよう、君のほしがった辞典が（買って）手に入るかもしれない」

③遠回しに否定の意味を表す場合。

这技术不是谁都学得会的。

「この技術は誰もがマスターできるようなものではない」

（誰もマスターできない）

班里没有一个人成绩赶得上她。

「クラスの中で成績が彼女にかなう者は一人もいない」

（誰も彼女に追いつけない）

④形式上肯定形を用いても、意味上はそれに反駁する場合。

多贵的汽车，我也买得起！

「どんなに高い車だって、私は買えるのだ」

（買えないことはない）

什么样的压力，我都顶得住。

「私はどんな圧力にも耐えることができる」

（耐えられないことはない）

### （3）熟語性A類可能補語

A類可能補語には対応する「“能”＋動詞＋結果／方向補語」の肯定形式がないものがある。たとえば、“对不起”の肯定形は“对得起”だが、“能”对起という表現はない。

常用のものに下記のような語があり、その意味はほとんど辞書で調べがつく。

靠 得／不 住	「あてになる／あてにならない」
合 得／不 来	「気が合う／気が合わない」
来 得／不 及	「まにあう／まにあわない」
经 得／不 起	「耐えられる／耐えられない」
看 得／不 起	「重視する／見くびる」

熟語性A類可能補語は肯定／否定どちらの形式でも用いられるが、肯定形式は対応する「“能”＋動詞＋結果／方向補語」の肯定形式がないため、ふつうのA類可能補語の肯定形式よりも多く用いられる。

他们俩性格合得来。

「彼ら二人はソリが合う」

她是中国教得着的电影明星。

「彼女は中国でも指折りの映画スターだ」

## 2. A類可能補語が使えない場合

「できる」という能力の肯定的意味を表現する場合、ふつう「“能” + 動詞 + 結果／方向補語」の形式を多く用いる。

○我“能”举起一百公斤的东西。

「私は100キロの物を持ち上げることができる」

※比較 この場合A類可能補語の肯定形を用いるとニュアンスが変わってくる。

△我举得起一百公斤的东西。

「私は100キロの物だって持ち上げられないことはない」という強調、もしくは、相手の言い方に対して反駁するニュアンスがある。

〔前述Ⅱ－1－(2)－④参照〕

下記条件のもとでは、A類可能補語を用いることはできない。

(1) 道理から言って許されるかどうかを表現する場合、A類可能補語は使えず、「能」／「不能」の形式を用いる。

○成本“不能”超过产品价格。

×成本超不过产品价格。

「コストは製品価格を越えてはならない」(～すべきでない)

○外头刮大风很危险，你“不能”出去。

×外头刮大风很危险，你出不去。

「外は風がひどくてとても危険なので、出て行ってはいけない」

(2) 周囲の事情から言って相手に許可されるかどうかを表現する場合も、A類可能補語は使えず、「能(可以)」／「不能」の形式を用いる。

○我“可以”进来吗？

×我进得来吗？

「入ってもよろしいですか」(～を許す)

○今天的作业还没做完，你“不能”出去玩儿。

×今天的作业还没做完，你出不去玩儿。

「今日の宿題をまだやり終えていないから、遊びに出て行ってはいけない」（～を許さない）

- (3) “把”を使う処置式文と“被”を使う受身文にはA類可能補語を併用することはできない。

○你“能”~~把~~这些文章一天就抄完吗？

×你~~被~~这些文章一天就抄得完吗？

「あなたはこれらの文章を一日で書き写すことができますか」

○这块砖，我打不碎。

×这块砖~~被~~我打不碎。

「私はこのレンガを割ることができない」

- (4) 連動文の最初の動詞の後にA類可能補語を用いることはできない。

○爸爸今天“不能”回来吃晚饭。

×爸爸今天回不来吃晚饭。

「お父さんは今日夕飯を食べに戻って来れない」

○没有请柬，你就“不能”进会场去跳舞。

×没有请柬，你就进不去会场跳舞。

「招待状がなければ会場に入ってダンスをすることはできない」

- (5) 動詞の前に動作者の心情・態度を表す連用修飾語や、動作を描写的に修飾する連用修飾語があれば、A類可能補語を用いることはできない。

○她“不能”~~地~~回答出问题来。

×她~~地~~回答不出问题来。

「彼女は問題に詳しくは答えられなかった」

○只有他一个人才“能”~~地~~完成这项重要任务。

×只有他一个人才~~地~~完得成这项重要任务。

「彼一人だけが順調にこの大役をやりおおせることができる」

### 3. A類可能補語と“能”／“不能”形式とが共に使える場合

- (1) 日常よく使われる“看得見”“听得見”“看得出来”“听得出来”  
“看得懂”“听得懂”などの肯定的意味を表現する場合はA類可能補語でも用いることができる。

她看得懂中文报。

「彼女は中国語の新聞を読解できる」

她“能”看懂中文报。

「彼女は中国語の新聞を読んで理解する能力がある」

- (2) 「能力」ではなく、容器・建物・車などの「容量」の肯定的意味を表現する場合はどちらもでも用いることができる。

这个礼堂坐得下一千人。

「この講堂は千人座ることができる」

这个礼堂“能”坐下一千人。

「この講堂は（座ろうと思えば）千人座ることができる」

- (3) 事物に対する見解や主張で「～できない」という否定的意味を表現する場合、“不能”形式を用いてもよく、その意味はA類可能補語の否定形式と同じである。〔前述Ⅱ－1－（1）参照〕

你不努力学习就“不能”赶上她。

你不努力学习就赶不上她。

「頑張って勉強しないと彼女に追いつけないよ」

睡午觉好是好，但睡长了，晚上你就“不能”睡好的。

睡午觉好是好，但睡长了，晚上你就睡不好觉的。

「昼寝はよいことはよいが、寝過ぎると、夜眠れなくなるよ」



(4) 疑問文ではどちらも用いることができる。

我讲的话，你现在都听得懂吗？

我讲的话，你现在都“能”听懂吗？

「私の言ったことを、あなたは今すべて聞いてわかりますか」

(5) 肯定形式のA類可能補語の前に“能”を付け加えて、その意味を強調することができる。

他是韩国人，我“能”看得出来。

「彼は韓国人だと私には見分けがつく」

这辆汽车除了司机以外，还“能”坐得下九个人。

「この車は運転手のほかに9人乗ることができる」

#### 4. 目的語の位置

(1) A類可能補語が結果補語もしくは単純方向補語からなるものであれば、目的語はふつう可能補語の後に置く。

这里看不到 ~~一本书~~。

「ここでは一本の木も見あたらない」

因为工作太忙，抽不出 ~~时间~~。

「仕事が忙しすぎて時間がとれない」

(2) A類可能補語が複合方向補語からなるものであれば、目的語はふつう“来”や“去”の直前に置く。

我想不起 ~~这个名字~~ “来”了。

「私は彼の名前を思い出せなかった」

他怎么也改不过 ~~这个习惯~~ “来”。

「彼はどうしてもその習慣をなおせない」

(3) 目的語を文頭へ移動させて、強調することもできる。

他们，他们还听不大懂。

「中国語は彼らはまだ聞いてもあまりよくわからない」

### Ⅲ. B類可能補語

動詞や形容詞の後に“得了”／“不了”を付けると、「動作や変化の実現が可能かどうか（できる／できない）、または、状況に対する推測（ありうる／ありえない）」を表すB類可能補語を作ることができる。

#### 1. B類可能補語とA類可能補語との相違点

(1) A類可能補語は動作の結果または方向と関係があるのに対し、B類可能補語は動作の結果または方向とは関係がない。

A類可能補語の“了”は「尽きる」「なくなる」などの結果の意味を表す。

这么多菜，我们俩吃不了。〔動詞＋“不”＋結果補語“了”〕

「こんなにたくさんの料理を私たち二人では食べきれない」

（「食べる」ことはできるが、「食べ尽くす」ことはできない）

B類可能補語の“了”はそれ自体は結果の意味を表さない。

明天有事，去不了长城了。〔動詞＋“不了”〕

「明日は用事ができて、万里の長城に行けなくなった」

（「行く」ことそれ自体ができない）

## (2) B類可能補語の特徴

A類可能補語と結合できるものは一音節の動詞がほとんどであるが、B類可能補語は口語で用いられることが多いため、動詞のほかに形容詞とも結合しやすく、また、二音節の動詞や連用修飾語のある複合動詞との結合もしやすい。

他比我大不了几岁。〔形容詞＋“不了”〕

「彼は私よりたいして年上ではないだろう」

你放心好了，我上当不了。〔二音節の動詞＋“不了”〕

「安心していい、私はだまされっこないから」

我的好孩子是乱花不了钱的。〔副詞＋動詞＋“不了”〕

「私の子供は良い子だからお金をむだ使いなんかしない」

## (3) B類可能補語の使用制限

B類可能補語も主に「～できない」という意味を表す否定形式が用いられ、それに対応する肯定の意味を表す場合は“能”形式を用いることが多く、その使用制限はA類可能補語とほぼ同じである。

什么困难，我们都克服得了。

「どんな問題でも私たちは克服できる」

(克服できないことはない) {前述Ⅱ－1－(2)－④参照}

○那里很危险，你一个人“不能”去。

×那里很危险，你一个人去不了。

「あそこは危険だから、あなた一人で行ってはダメだ」

(禁止) {前述Ⅱ－2－(1)、(2)参照}

这么拖下去，解决不了问题。

这么拖下去，“不能”解决问题。

「こんなことをずるずるとし続けても問題を解決することはできない」

{前述Ⅱ－3－(3)参照}

#### IV. C 類可能補語

動詞や形容詞の後に“得”／“不得”を付けると、「動作の実現が可能かどうか、または、道理から言って許されるかどうか」を表すC類可能補語を作ることができる。

C類可能補語は「～してはいけない」という禁止の意味を表す場合には用いられるが、「～できる／できない」という動作の実現の可能・不可能を表す場合、現在では一部を除いてあまり用いられることはなく、ふつう「“能”／“不能”＋動詞」の形式か、B類可能補語が用いられる。

你还记得我吗？

「あなたはまだ私のことを覚えていますか」

这个菜有臭味儿，吃不得。（“不能”吃。）

「この料理は異臭がするので食べてはいけない」

那家商店的货又贵又不好，买不得。

「あの店の商品は高くて質も良くないので買ったら損する」

你千万大意不得。

「くれぐれもいいかげんにしないように」

なお、常用される熟語性C類可能補語には下記のような語があり、その意味はほとんど辞書で調べがつく。

巴不得「したくてたまらない」      顾不得「かまってられない」

恨不得「できないのがもどかしい」      怪不得「どうりで」

舍不得／舍不得      「未練がない／名残惜しい」

记得／记不得      「覚えている／覚えていない」

#### 《参考文献》

1. 劉月華      〈現代中国語文法総覧〉      1996.6.      くろしお出版
2. 讀井唯允      〈雑誌「中国語」文法講座（6）可能補語〉 1996.9.      内山書店
3. 相原茂      〈中国語の文法書〉      1996.6.      同学社
4. 守屋宏則      〈中国語文法の基礎〉      1995.4.      東方書店
5. 尚永清      〈中日辞典〉      1992.1.      小学館